

免許状教科	商業			
科目名	商業科の教育	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Method of educating commercial department	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	くにい のりお	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中	
担当者名	國井 法夫	修得単位	4単位	
授業のテーマ	「商業」科目の歴史とその内容を学ぶとともに授業方法を実践練習する。			
授業概要	現行学習指導要領、各科目のねらい、指導案の作成方法、授業方法について実践練習する。			
到達目標	指導案の作成、実際の授業がすぐに行えるようにする。			
授業時間外の学習	教職教養(とりわけ、学習指導要領部分)に関する過年度の問題を講義と並行して行う。			
履修条件	欠席しないこと。			
授業計画				
第1回	商業教育の意義(1) 高校における商業教育の必要性	第17回	指導計画と授業展開(3) 指導形態と指導方法	
第2回	商業教育の意義(2) 商業教育の意義	第18回	指導計画と授業展開(4) 年間指導計画	
第3回	我が国の商業教育の歩み(1) 新制商業教育の開始まで	第19回	商業教育と人間形成(1) 育成したい生徒像	
第4回	我が国の商業教育の歩み(2) 平成11年までの指導要領	第20回	商業教育と人間形成(2) 商業教育と生徒指導	
第5回	我が国の商業教育の歩み(3) 現在までの指導要領	第21回	商業教育と人間形成(3) 商業教育と進路指導	
第6回	我が国の商業教育の歩み(4) 高校以外での商業教育	第22回	指導案作成と授業実践(1)	
第7回	現行学習指導要領とその理解(1) 教育課程について	第23回	指導案作成と授業実践(2)	
第8回	現行学習指導要領とその理解(2) 総則の理解	第24回	指導案作成と授業実践(3)	
第9回	現行学習指導要領とその理解(3) 教科「商業」の理解	第25回	指導案作成と授業実践(4)	
第10回	現行学習指導要領とその理解(4) 総合的な学習について	第26回	指導案作成と授業実践(5)	
第11回	各科目の学習内容とそのねらい(1) ビジネス基礎等	第27回	指導案作成と授業実践(6)	
第12回	各科目の学習内容とそのねらい(2) マーケティング分野等	第28回	指導案作成と授業実践(7)	
第13回	各科目の学習内容とそのねらい(3) 会計分野等	第29回	指導案作成と授業実践(8)	
第14回	指導計画と授業展開(1) 教育課程と学習指導	第30回	指導案作成と授業実践(9)	
第15回	指導計画と授業展開(2) 指導計画	第31回	指導案作成と授業実践(10)	
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験	
テキスト	プリントで行う。			
参考文献・資料	教職必修最新商業科教育法(実教出版)、高等学校学習指導要領解説「商業編」			
成績評価の方法	試験の得点(60%)・レポート提出(10%)・出欠・学習態度(30%)等で総合評価します。			
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			
オフィスアワー	木曜日5時間目			

学生への メッセージ	必ず出席すること。教職科目での欠席はゼロにすること。
---------------	----------------------------